令和6年度 加古川市立神野小学校 学校評価

1 教育目標	「自ら学ぶところ豊かな神野っ子の育成 ～夢が語り合える学校～」
2 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考える子 … 学びの楽しさやわかる喜びを体感し、自ら考え表現する子ども ・助け合う子 … 互いに認め合い、励まし合う 思いやりのある子ども ・たくましい子 … 心身ともに健康で、たくましい気力と実践力を備えた子ども
3 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を核とした授業改善等・学力向上に向けた取組の充実 ・命や心を大切にす教育 ・運動習慣・食育習慣等、自らの健康を意識して行動する力の育成

評価基準 A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
よく考える子	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる学力」となる基礎・基本の定着を図るための継続的な指導 ・協同的探究学習を核とした「わかる学力」の授業実践 ・一人一台端末を効果的に活用した学習活動の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の重点指導すべき基礎学力を明確にし、教師間で共通理解を図り、継続指導する。 ・「できる学力」と「わかる学力」を意識した学びについて、協同的探究学習を活用した研究を引き続き推進する。 ・デジタルツール使用例を集約・共有し、活用の場面を広げる。 	授業参観からは、児童が生き生きと活動する様子がよく分かる。これからは「できる学力」と「わかる学力」の育成に向けて授業をよりよいものにしていくことで、子どもたちの学びの質の向上に努めていただけることを期待している。また、6年間を見通した指導という観点も大事にしてもらいたい。	A
たくましい子	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣の定着と体力の向上に向けた工夫・改善 ・児童の健康の基礎を培う健康教育及び食育の充実 ・生命の尊重を基盤にした安全・安心な学校づくりの推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「神野っ子スポーツデー」の継続・充実を図るとともに、縄跳びカード等を活用して運動習慣を身につけさせる。 ・給食指導を通じた食育推進により、健全な食生活を実践できる力を育む。 ・定期的に安全教育を実施し、事故防止を促進する。 	地域でも、外で元気に走り回って遊ぶ姿を見る機会が減っている。「神野っ子スポーツデー」などの独自の取組を続けることが子ども達の体力向上に繋がれば嬉しい。子どもの少々の怪我は、ある程度仕方ないと思うが、大きなけがに繋がらないような指導をお願いしたい。また、元気に挨拶できる神野っ子であり続けてほしい。	B
教師力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲の育成をめざした指導法の工夫及び改善 ・教職員の専門性や実践的指導力を高める研修の充実 ・児童一人一人の教育的ニーズの把握と支援のあり方を追求した特別支援教育の充実 ・アセスや教育相談等を活用した児童の内面に寄り添った指導や信頼関係の構築 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を積極的に活用し、個別最適化学習を進める。 ・外部講師を招聘して授業研究を推進することで、教職員の専門性や指導力向上に取り組む。 ・教師間の連携を強化し、積極的に相談し合える体制づくりを構築する。 ・生活アンケートや教育相談を活用した指導法の一貫性を高め、児童や保護者との信頼関係を構築する。 	本校児童のchromebook活用能力が、他校と比較してどうかということはよく分からないが、1年生が上手に使っている様子を見て驚かされた。ICT機器の活用も必要であると思うが、それと同じくらい、子どもたちとのコミュニケーションも大切にしていきたい。また、市内では若い先生方も増えているとの話を聞いたので、保護者や地域と協力しながら、学校全体で子どもたちを育てる意識も大事になってくる。	B
家庭・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者に対する、ホームページや学校だより、学年だより等での教育活動の積極的な発信 ・健やかな児童の育成に向けた家庭との連携 ・地域の人材や学校の特色を生かした体験活動の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もホームページや学校だより・学年だよりを活用し、積極的に教育活動を保護者・地域に発信する。 ・これまでも校地整備や環境学習で地域の方々のお力をお借りしているが、今後はミシンボランティア等の募集についても保護者・地域に発信していく。 	よく取り組んでいると思う。スクリレの「樟のかおり」やホームページの学年のページからも学校の様子がよく分かる。引き続き、教育活動の充実に向けて地域としても協力していく。ミシンボランティアについても、よいアイデアであると思うので、ぜひ募集してもらいたい。	A
教職員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の適正化に向けて、業務の合理化及び精選 ・定時退勤の完全実施及び勤務時間の縮減 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末の短縮時間割等の教育課程の見直しを検討する。 ・書類やデータを整理し、フォルダ管理することで、業務の効率化・負担軽減できるよう、DX化を推進する。 ・必要に応じて業務の役割分担を再評価し、マンパワーの増加に向けた取組を検討する。 	我々から見ると、先生方はよく頑張ってくれていると思う。先生方の努力に感謝しているが、先生方の元気が子どもたちの元気につながるので、そこを大事にしていただければと思う。社会では、先生のなり手が減っていると聞くと、先生方の環境改善により、志望する方を増やさないといけない。行政の支援を得ながら、人材確保が急務であると考えている。	B